

2009年11月16日

## 「教員南極派遣プログラム」による「南極授業」の日程を決定 (教員は、第51次南極地域観測隊に同行します。)

国立極地研究所(立川市緑町: 所長藤井理行)は、平成21年11月24日に日本を出発する第51次南極観測隊に同行する2名の教員が、南極昭和基地から「南極授業」を行う日程を決定しました。

現職の教員が南極から授業をするのは、今回が初めてのものです。

### ○授業日程(月日、場所、担当教員の順)

- ・平成22年1月26日(火)、奈良県立奈良高等学校、森田好博
  - ・平成22年1月27日(水)、習志野市立大久保小学校、長井秀子
  - ・平成22年1月30日(土)、立川市柴崎学習館、森田好博、長井秀子
  - ・平成22年2月6日(土)、日本科学未来館、森田好博、長井秀子
- 実施時間は、14:00~16:30の間を予定し、それぞれ調整して行う。

### ○授業をする教員

氏名: <sup>ながい ひでこ</sup>長井 秀子(48歳)(千葉県習志野市立大久保小学校 教諭)

氏名: <sup>もりた よしひろ</sup>森田 好博(48歳)(奈良県立奈良高等学校 教諭)

### ○「教員南極派遣プログラム」の概要

このプログラムは、極地の科学に興味を持つ現職の教員を南極昭和基地に派遣し、現地からの衛星回線によるTV会議システムを利用して、派遣教員が企画する「南極授業」を通じて、国内の小・中・高校の生徒および国民の皆様に対し、南極に関する理解の向上のための情報発信をするためのものとして、また、派遣教員の知識の習得や自己研鑽をしていただくために、文部科学省(南極地域観測統合推進本部事務局)と連携して実施するものです。

派遣される教員には、帰国後においても、南極の自然、観測隊員の姿、南極観測の意義等についての情報発信、児童・生徒の南極の自然への理解、興味・関心の向上、地球環境、国際協調に関する意識の向上について様々ご協力をお願いすることとしています。

問い合わせ先

国立極地研究所広報室 <sup>かわくぼまもる</sup>川久保 守 <sup>くまがいひろやす</sup>熊谷 宏 靖 TEL:042-512-0655 E-mail:kofositu@nipr.ac.jp

Mobile:080-1361-6119(川久保) 080-1361-6120(熊谷)